

自治体名	石川県能美市	人口	49,639人	事業費	229,808千円
概要	能美市は海から中山間地まで多様な地理で、明確な中心市街地がなく施設が分散し、車が必須の生活様式であり、高齢者、障がい者、子育て世代、外国人等、移動に課題のある市民は、孤立孤独のリスクが高く医療や買い物等の日常生活に支障をきたす。能美市型のベーシックインフラサービス（総合生活支援サービス）を社会資源（コミュニティセンター2.0）と市民力を活かして実施し、人流・物流を最適化した、誰もがずっと住み続けられる地域づくりに取り組む。				

背景・対応方針

課題

解決施策

- ・地理的に多様で移動が移動(人流・物流)が非効率。
- ・中心街もなく生活機能が分散しており、属性問わず車が不可欠で孤立無援のリスクが高い

↓

- ・オンライン医療や買い物支援等、地域資源を活かした移動の少ない暮らしの仕組み作り
- ・共同配送やライドシェアサービスによる人流・物流の最適化
- ・官民サービスの連携や意識的な市民力の再構築、人の交流促進によるWell-beingな暮らしづくり

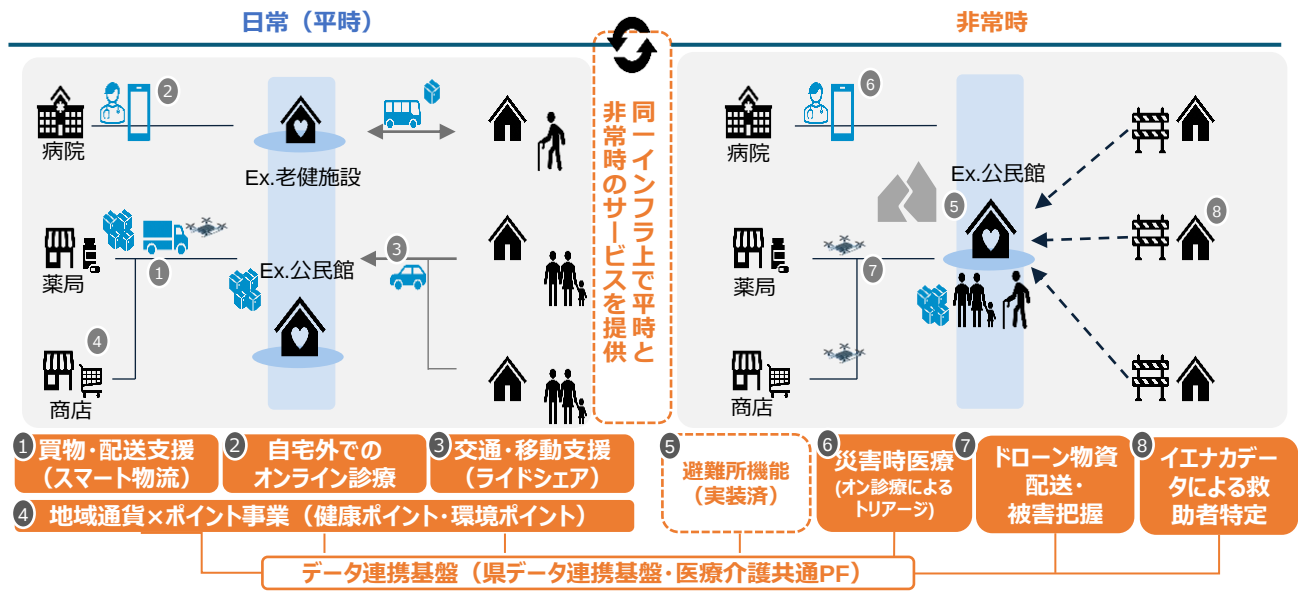
実現する姿

デジタル技術と市民力による、誰ひとり取り残されないスマートであたたかな能美市

…実装サービス

…実装体制・仕組み

地域の核となる社会資源（公民館等）×デジタル×マイナンバーカードにより平時の生活課題と非常時の孤立リスクをフェーズフリーで解消し、安心してずっと住み続けることができるベーシック・インフラサービスを実現



誰一人取り残さないためのデジタルデバйд対策

✓ コミュニティナースによりDXに不慣れな市民も確実にサポート/共助再構築

着実にサービスを実装する、産×学×市民との連携

✓ 商業協同組合、医師会、福祉協議会、町内会、大学など産×学×市民と連携した体制を構築

DX人材育成・データ活用

✓ DX人材育成の取り組みや、データ連携基盤に蓄積する各種データに基づく民間企業誘致・連携も実現（ex.コンビニジム）